



学校だより

温 寧 の 丘

北海道小平高等養護学校

令和 6 年 3 月 22 日

第 4 号(通算109号)

『今年度の終わりと来年度の始まりにむけて』

(お子さんと一緒に読んでください。)

北海道小平高等養護学校長 齋 藤 利 文

今年は例年に比べると暖かいといわれますが、学校のある留萌地方は、記録的な大雪が続き、その後も、気温が寒暖差のある日々が続きました。3月に入り、小平高等養護学校から見る日本海は、冬の荒々しい海から、太陽の日差しを感じる海へ変わり、春の訪れを感じます。

生徒たちはこの1年間いろいろな目標をもち、それに向けて努力してきました。そして、学習、生活、心の面などで一人一人が大きな成長を遂げました。これからも自分の目標をしっかりともち「夢の実現」に向けて目指して、学び続けてほしいと願っています。

「夢を叶える」ことは、夢や願いをもつことが「叶える」ことの始まりです。目標(=夢や願い)をもつことが大切です。そして、自分の目標や夢を紙に書き、周囲に宣言することで、目標を叶えるための強い意志をもつことができます。願いを強い思いへと変え、努力への動機付けとするには願い事を宣言することだと言われています。

例えば「●●会社に就職できますように…」という願いを「●●会社に就職します」というように「宣言」に変えることで、それを達成するために何をしたらよいのかを考えることにつながります。また、「叶う」という言葉は口に十(じゅう)と書きます。口で十回以上願いを言うこと、つまり宣言することなのではないでしょうか。さらに、「叶う」は口に十(プラス)と書きます。プラス(+)のことを口にすることで目標にも夢にも向かって行ける、努力することができるのだと思います。

反対に「叶う」という言葉にー(マイナス)がつくと「吐く」という字になります。弱音を吐く、泣き言を吐く、捨て台詞を吐く…。マイナスの言葉はマイナスの発想につながります。

うまくいかないことが続いたとき、夢をあきらめようと思ったとき、「叶う」という文字を思い出し、「プラスの言葉」を探してみるとよいと思います。きっと、希望にあふれた前向きの言葉が見つかるはずです。

就職・進級の希望に満ちた春がすぐそこまで来ています。この1年間の学習や生活を振り返り、力を付けた自分に自信をもって、新たな目標(夢の実現)に向かって4月からの新しいスタートをしてほしいと思っています。

本年度、『夢に向かって挑戦し未来を切り拓く人を育てる』を理念に、教育目標のもと教職員が一丸となって様々な教育活動に取り組んでまいりました。次年度もさらに充実した教育活動を展開し、生徒たちのさらなる成長につながるよう努力してまいります。

保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様には本校の教育にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。今後もお layered ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

「学校評価について」

生徒の評価として、気持ちをどのように伝えたらいいのか分からないという生徒が多いようです。また、自分から進んで行動する力が弱いようで、経験のなさからどう行動すればよいのか分からない生徒が多いのかもしれません。

そこで、普段から職員や仲間とのコミュニケーションを深め、相手を認める、自分と違っていても気にしないなど相手を尊重する心がもてるよう指導を行ってきたいと思います。

保護者からの評価は、概ね「適切である」という評価をいただいています。

ただ、「コロナ禍」での PTA 活動が中止や延期など活動自体が少なかったため、新年度は活動を再開してほしいという声があるので計画をしています。

また、情報発信についても今以上に積極的に行っていくことが課題と言えます。学級通信、ホームページ更新だけでなく、進路の情報なども合わせて保護者に、また学校の活動について地域への発信も行っていきたいと考えます。

職員評価については、学校課題について一人一人が解決への意識を持つことが大事と考えます。また、ICT の活用については、より一層力を入れます。

地域との連携についても学校側からもっと地域への働き掛けや地域貢献の必要性を考えていかなければいけないと考えます。寄宿舎の活動においても積極的に地域へと考えています。

今後とも本校の教育活動に御理解と御協力をお願いいたします。

(教頭 荒 木 健 夫)

「総合学習成果報告会」の様子

2月9日(金)に本校の体育館で「総合学習成果報告会」を実施しました。

1学年は「地域を知ろう」、2学年は「地域に発信しよう」、3学年は「地域に貢献しよう」をテーマに1年間学習に取り組みました。

1学年は3つのグループに分かれて「鬼鹿の歴史」「鬼鹿の文化」「鬼鹿の水産業」について、発表しました。緊張している様子でしたが、一人一人しっかり原稿を読むことができました。

2学年は、地域をPRするためのパンフレットを作成しました。パンフレットでは「道の駅 鯉番屋」を紹介しており、道の駅の中で見つけた「押し」の商品を、見ている人が買いたくなるよう楽しく発表しました。

3学年は、鬼鹿厳島神社祭の花飾りの取り付けや、海のゴミをなくすための啓発ポスターの作成などの貢献活動について、発表しました。貢献活動にかかわることをクイズにするなど、みんなにわかりやすく発表していました。

地域を学ぶ「総合学習」を行うために、今年度もたくさんの地域の皆様の御協力をいただきました。本当にありがとうございました。

(教諭 奈良岡 有 紀)

